

淡路島南部で注目される蛾 (II)

藤平 明¹

10. オスグロホソバアツバ *Hypena linealis* Walker
Apr.15.1995 (南淡町灘大川) [灯] 越冬个体か。
四国, 九州に産し本州では福井県より記録がある。最近の報告では, 愛知 (1988) 三重 (1991) から記録されている。
11. シラオビキリガ *Cosmia camptostigma* (Ménétrières)
Jun.28.1995 (南淡町大日ダム) [灯]
北海道から本州に産し, 中国地方まで記録があるが, やや局地的。四国, 九州からは未知。
12. ヤマトホソガ *Lophoptera hayasi* Sugi
Oct.21.1995 (南淡町大日ダム) [灯]
この亜科中日本に土着する唯一の種。本州中部以西, 四国, 九州にいたる本土域と対馬及び屋久島にも産する。7~10月に出現する。いずれの地域でも稀な種。

[北方系の種]

1. ツマグロギンハマキ *Groesia blanda* Yasuda
Jun.8.1994 (南淡町灘大川) [灯]
北海道から本州にかけて分布する日本固有種。
2. マダラギンスジハマキ *Pseudargyrotoza aeratana* (Kennel)
Oct.15.1995 [灯]
北海道から本州中部にかけて分布するが少ない種。熊本県 (1984) からも報告があり, 旧ソ連 (ウスリー) からも知られている。
3. ハンノメムシガ *Epipotia tenerana* (Denis & Schiffermuller)
Jun.9.1961 (南淡町阿万上町) [灯]
北海道, 本州 (東北及び中部山地), 四国 (剣山) に産する。
4. クサビホソハマキ *Stenodes jaculana* (Snellen)
Sep.1969, 1ex. Sep.19.1973 2ex. [灯]
既知産地は北海道, 本州, 四国 (山地), 朝鮮, 中国, 旧ソ連 (アムール, シベリア) など。8月~9月に出現するが個体数は多くなく, 南淡町では上記以外の記録はない。
5. ナラクロオビキバガ *Telphusa necromantis* Meyrick
May.27.1995 (南淡町大日ダム) [灯]
北海道, 本州に分布, 海外では中国にも分布。
6. ニッコウトガリバ *Epipsestis nikkoensis* (Matsumura)
Nov.19.1990 (南淡町阿万上町) [灯]
東北, 関東から中部山地にかけて秋に出現。香川県小豆島からも記録されている。
7. ウスイロトビスジナミシヤク *Costacoveva caespitaria* (Christoph)
Mar. 中旬 1961 (南淡町阿万上町) [灯]
北海道, 本州, 四国, シベリア東南部に分布。近畿地方では大阪・兵庫県柏原な

1: 〒656 07 三原郡南淡町阿万上町 794

どで採集されているが少ない。

8. ソトムラサキコヤガ *Maliattha bella* (Staudinger)

May.29.1994, Sep.8.1994 (南淡町大日ダム) [灯]

主として北海道から本州中部にわたって分布。他に山口県 (1993年)、香川県から得られている。

(ふじひら あきら)

コムラサキを発見

交告 尚史²

1995年の夏も数日間を淡路島で過ごしたが、その間に3度コムラサキを発見したので報告しておきたい。発見地はいずれも洲本市宇山で昨夏1頭採集した地点の南約50メートルの所である。本誌41号14頁の地図を参照していただきたい。なお今回は観察のみで採集はしていない。

1995年8月13日10時15分ごろ

8月16日9時20分ごろ, 10時20分ごろ

発見したコムラサキはいずれもオスであったが、同一個体かどうかは分からない。

(こうけつ ひさし)

トゲナナフシの生息記録

登日 邦明³

筆者は先に津名町大町でトゲナナフシ *Neohirasea japonica* を採集したが (本誌 No.31), その後も1990~1995年にかけて津名町大町の前回採集したのと同じ場所で7回にわたり合計8頭の本種を発見し、観察や写真撮影等を行った (うち'95年8月28日には1頭採集)。

本種は淡路島では珍しい種で、他に洲本市北谷より記録されているのみであるが、津名町大町ではその出現頻度から、かなり安定した状態で生息しているものと考えられる。

(とび くにあき)

2: 〒225 横浜市青葉区黒須田 32-12 ファミーユあざみ野 405

3: 〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑 235